

志賀原子力発電所 原子炉設置変更許可申請
(1号及び2号原子炉施設の変更)
申請の概要

平成14年7月

1. 申請の概要

(1) 申請者

北陸電力株式会社

取締役社長 新木 富士雄

(2) 発電所名及び所在地

発電所名：志賀原子力発電所

所在地：石川県羽咋郡志賀町字赤住

(3) 原子炉の型式及び熱出力

型式：1号炉 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型

2号炉 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型

熱出力：1号炉 1,593MW（電気出力 約 540MW）

2号炉 3,926MW（電気出力 約 1,358MW）

(4) 申請年月日

平成 14 年 5 月 15 日（平成 14 年 7 月 2 日一部補正）

(5) 変更項目

1号及び2号炉の不燃性雑固体廃棄物の処理方法に固型化処理を採用する。

なお、この変更に伴い、1号炉の放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち固体廃棄物の廃棄設備の記載を最新の記載形式に合わせる。

(6) 工期

本変更については原子炉施設の工事を要しない。

(7) 変更の工事に要する資金の額

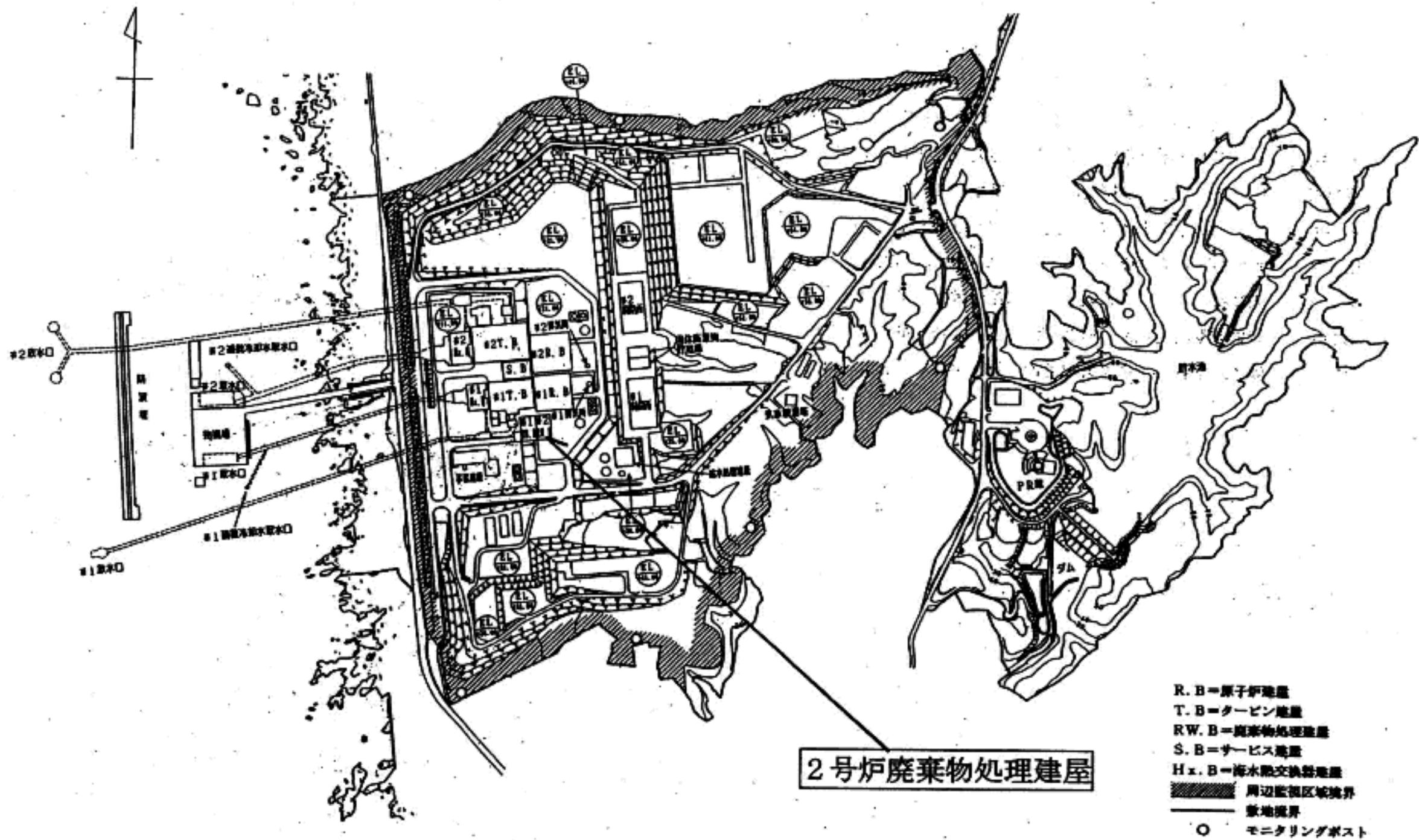
本変更については原子炉施設の工事を伴わないので、これに係る資金は要しない。

2. 変更の概要

志賀原子力発電所で発生する固体廃棄物のうち不燃性雑固体廃棄物の処理については、現状は圧縮可能なものは圧縮減容し、ドラム缶等に詰めて固体廃棄物貯蔵庫に貯蔵保管しているが、これに加え固型化材（モルタル）を充填してドラム缶内に固型化する処理を採用する。

なお、固型化処理は2号炉廃棄物処理建屋内の固型化エリアで行う。

2号炉廃棄物処理建屋の位置を第1図に、固体廃棄物処理系の系統概要図を第2図に、固型化エリアの概要図を第3図に示す。

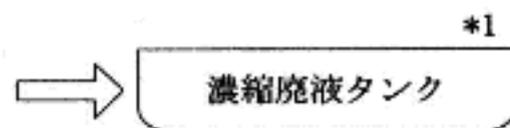


第1図 発電所の全体配置図



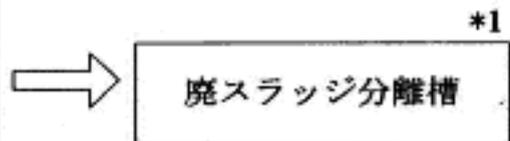
濃縮廃液

(高電導度廃液系濃縮装置から)

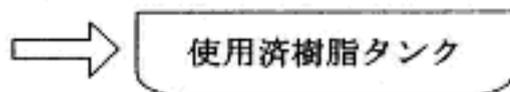


使用済樹脂及び
廃スラッジ

(原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器から
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器から
復水浄化系復水ろ過器から
液体廃棄物処理系ろ過器から)



(復水浄化系脱塩塔から
低電導度廃液系脱塩塔から
高電導度廃液系脱塩塔から)



雑固体廃棄物

(可燃性雑固体廃棄物)

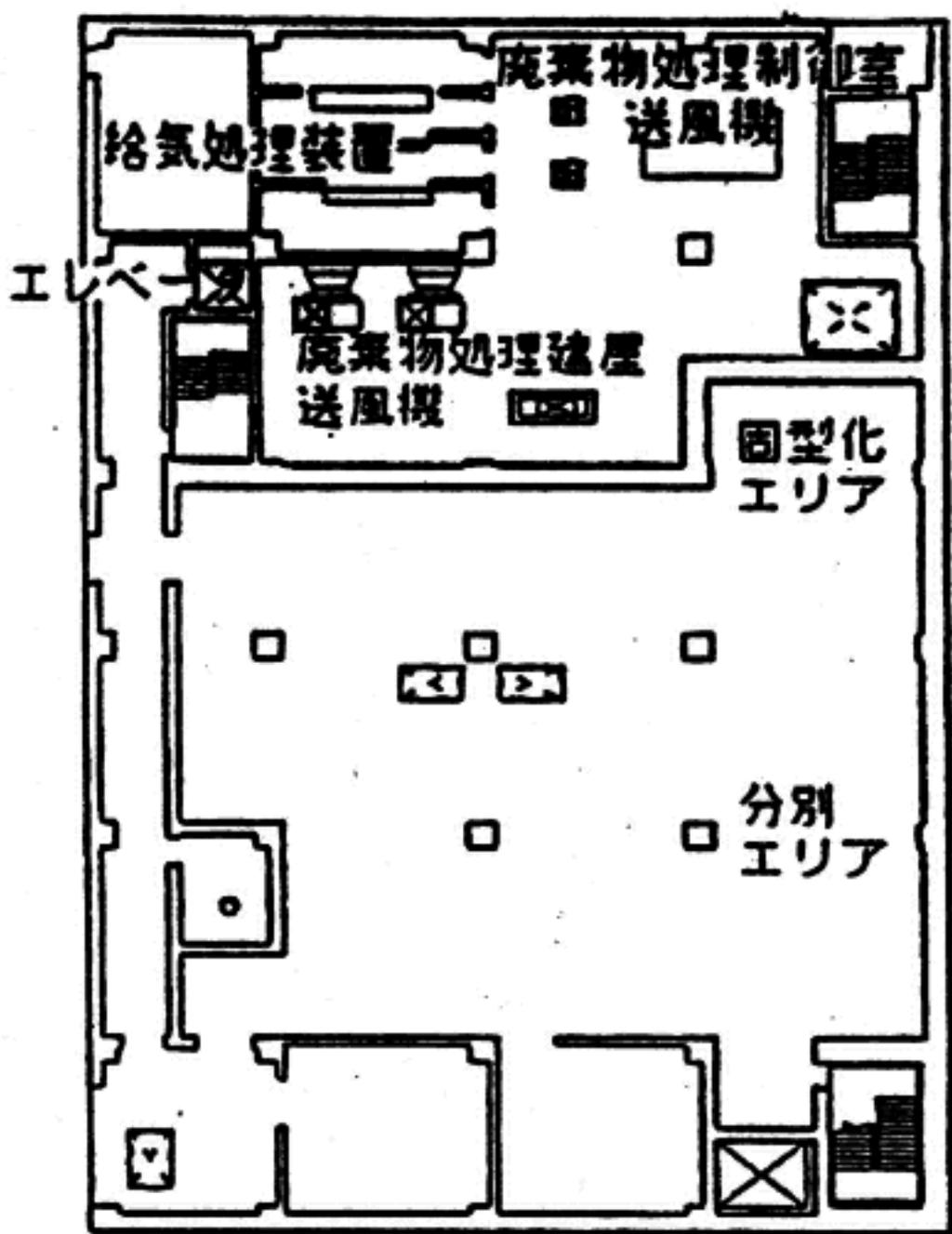
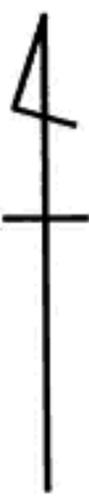
(不燃性雑固体廃棄物)

(使用済制御棒等)

*1 : 1号及び2号炉共用

*2 : 必要により実施

第2図 固体廃棄物処理系系統概要図



2号炉廃棄物処理建屋 地上三階

EL + 21300

第3図 固型化エリア概要図